

王なる神をたたえる

(詩篇72・1～20)

一、特異な国イスラエル

アブラハムを始祖とするイスラエルは、聖書の舞台となつた地域において、王を立てない特異な国でした。創世記には、バベルの王、すなわちバビロンの王ニムロ^テとか、ソドムの王、ゴモラの王等々、大勢出てまいります。イスラエルより歴史が古い古代エジプトでは王のことをファラオと呼び、歴史が続いていました。

古代イスラエルでは、神が王でした。その神は、モーセの時代に主(ヤハウエ)という名でご自身を現されました。ですがご存じのように、預言者であり、さばきつかさであったサムエルが年老いたとき、息子たちが堕落していたので、イスラエルの長老たちがサムエルの所に集まり、「私たちをさばく王を立てください」と言いました。サムエルは、長老たちの申し出が主の御意思に適わないと受け止めました。ところが、サムエルが祈ると、主は彼らの願いを聞き入れるようにと語られました。こうしてイスラエルに王制が導入されました。

君主のような王ではありません。王は地上において、神がなさることの代行者でした。しかし所詮、王は人間です。初代の王サウルには致命的な欠陥があり、失脚させられました。次の王ダビデは信仰的で有能な王でしたが、赦されざる罪を犯しました。ですが、ダビデの悔い改めが本物だったので、王を四十年間務めると「合格点」を取りました。次に王となつたソロモンは、神から並外れた知恵を授かってイスラエルをさばき、エルサレム神殿の建築を完成させました。即位期間は四十年間でしたが、一から八合格点というより「及第点」としての四十年、と受け取つたほうが良さそうです。なぜなら、人生の途中で偶像礼拝に傾き、イスラエルの信仰を曲げてしまつたからです。

二、72篇は「のために」か、「による」か

これまでにお語りしたことは、詩篇72篇を読むための予備知識です。まず、表題を「覧ぐださい。ソロモンのために」とあります。実はこのように訳されているのは、私が見る限り、新改訳2017だけです。新改訳旧版は「ソロモンによる」でした。「のために」と「による」では、かなり意味が異なります。他の訳は、文語訳は「ソロモンのうた」、口語訳も「ソロモンの歌」、新共同訳は「ソロモンの詩」、フランス語訳は「ソロモンの詩歌」、聖書協会共同訳は「ソロモンの詩」です。訳によってかなり異なります。元のテキストは、

者でした。しかし所詮、王は人間です。歌とか「詩歌」とか「詩」ということは、元のテキストにはありません。

「ソロモンの」です。そういうわけで、「歌」とか「詩歌」とか「詩」ということは、元のテキストにはありません。元のテキストは「ソロモンの」なので、「ソロモンのために」か、「ソロモンによる」、すなわち「ソロモンが歌つた」と理解したとしても、「ソロモンが歌つたものとして、後代の編集者が付けた」という意味合いにも受け取られます。私は、新改訳

2017のように「ソロモンのために」歌われた詩篇、として受け取るのがよいと考えています。作者は、72篇における王を理想的な王として描いています。1節を「覧ください。神よ、あなたのさばきを王にあなたの義を王の子に与えてください」とあります。物事をさばき、人をさばくのは神の務めです。なお、脚注には「さばき」について、「あるいは「統治」と書かれています。その「さばき」「統治」を「全に(略)与えてください」と語つているわけです。そうしますと王は神の代行者というよりは、神の代理人になります。2行目では「あなたの義を王の子に与えてください」と語っています。全の子は、王の後継者であります。全の子は、王の後継者である王子のことでありましょう。

2節は、1節の展開になります。「彼が義をもつて、あなたの民をさばきますように。」公正をもつて、あなたの苦しむ民を」と。「義」は、神だけがお持ちのご性質で、人が「義」を持ち、保持続けることはできません。その義が、王と王の子に与えられるようにと語られています。神だけが持つておられる義が、地上の王に授けられ、王が神の代行者また代理者として統治できるよう求める内容となっています。

三、私たちに啓示されたまことの王

聖書は主イエス・キリストが王であると証言していることを見逃してはなりません。そのように、マタイの福音書は語っています。マタイ2章1節、2節です。マタイ2・1～2」と、続く4節、5節には「マタイ2・4～5」とあります。そして9節、10節、11節です。マタイの福音書は、単に物語として語つているのではありません。主イエス・キリストこそ、まことの王である、と語っています。言い換えるなら、それが聖書による神からの啓示です。マタイの福音書は、イエス・キリストがメシアであり、王であると啓示しています。それゆえに、マタイの福音書では主イエス・キリストが王のたとえを多く語られています。それは、主イエス・キリストが王であることのメッセージであり、神からの啓示です。